

本市における学校規模適正化・適正配置のこれまでの経過

- H27年1月 文部科学省が公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引を策定
 - H28年6月 鹿児島市学校規模適正化検討委員会の設置
 - H29年10月 同検討委員会から、「鹿児島市立小学校・中学校の学校規模適正化・適正配置に関する提言」の受領
 - H30年3月 「鹿児島市立小学校・中学校の学校規模適正化・適正配置に関する基本方針」を策定
 - H30年度 学校を訪問して説明・基本方針に関する住民説明会（59会場、参加者：1,052人）
 - R元年度 希望した校区との意見交換会（4校区、78人：桜峰小、一倉小、桜洲小、明和小・中）
 - R2年度 意見交換会の開催趣旨の案内を対象校のPTA会長と地域コミュニティ会長に送付
市PTA連合会との会合でこれまでの取組内容等を説明
 - R3年度 桜島地域コミュニティ協議会連絡会での説明等（7/28事務局職員連絡会、10/16・22・11/12・30桜島の学校規模適正化を考える会）
- 桜島**
- R3年12月 「桜島地域の学校統合に関する要望書」の受領（12/22）
「桜島地域における小中一貫教育検討会」（庁内組織）の設置
 - R4年3月 義務教育学校の設置決定（市長決定）
 - R4年度～R7年度 適正化検討対象校などの学校長等に聞き取り
- 桜島**
- R4年4月 桜島地域における義務教育学校整備検討委員会発足
 - R4年6月 「桜島地域における義務教育学校基本構想」策定
 - R4年9月～R6年3月 基本・実施設計
- 明和**
- R5年3月 明和まちづくり協議会、明和小PTA、明和中PTAの連名で小中一貫についての要望書を受領（3/30）
 - R5年6月～9月 明和校区学校・地域との意見交換
希望に満ちた明和を作る会（6/10,7/18）、明和校区地域PTA（7/1）
明和小中学校運営協議会（9/21）から義務教育学校を進めるべきとの会議報告書提出
 - R5年11月～R6年1月 「明和小中一貫校化の動きに対し住民の意思を表明する会（11/24）から、明和小・中が校の一貫校化の動きについて地域住民・団体が十分な議論を求める陳情がなされる。市民文教委員会にて、陳情が不採択となる。（1/30）

資料 1—2

桜島 ○R6年7月、10月 工事入札不調

桜島 ○R6年12月 既存校（桜島中）を活用し8年4月に桜島学校を開校することを決定

明和 ○R7年3月 第1回明和校区における義務教育学校あり方検討委員会開催

桜島 ○R7年4月 入札・仮契約、工事請負契約議案提出、議決後工事開始（旧溶岩グラウンド第1）

明和 ○R7年6月～R8年1月 明和校区における義務教育学校あり方検討委員会開催（4回）

明和 ○R7年4～5月 明和小・中PTA総会、7月末 就学児保護者への説明・意見交換

明和 ○R8年3月 「明和校区における義務教育学校基本構想」策定（予定）

喜入 ○R8年3月 前之浜・生見校区からの「学校統合に関する要望書」の受領（3/13）

【令和8年度のスケジュール】

桜島 ○R8年4月 開校（桜島中校舎の活用）
○R9年2月 工事完了
○R9年4月 新校舎供用開始

明和 ○明和校区における義務教育学校あり方検討委員会の開催と、基本計画策定

喜入 ○R9年4月 前之浜・生見両小の喜入小への編入統合（に向けた準備）

○学校規模適正化・適正配置基本計画（仮称）の検討に向けて外部検討委員会設置

【現状】

H30.3月に学校規模適正化・適正配置基本方針を策定し、以降市内全域での住民説明会や、要望のあった校区の保護者等と意見交換を行ってきたが、基本方針の運用が地域住民の要望を受けて、適正化等を検討することとしており、令和7年度末時点で、桜島地域、明和校区、喜入地域（前之浜小と生見小）の3地域から要望がなされている。

【課題】

- ・少子化により、児童生徒数が減少し、教育活動の制約など、児童生徒の学びや学校運営上に影響が生じる。
- ・校舎の老朽化が進み、建替えが必要な校舎が増加している。
- ・社会保障関係経費や都市基盤の整備、地域経済の活性化や長引く物価高騰等への対応に多額の費用が見込まれている状況。